



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 ニチバン株式会社  
コード番号 4218 URL <http://www.nichiban.co.jp>

上場取引所 東 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 直人  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 酒井 寛規

TEL 03-5978-5601

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,855	△0.3	751	△6.5	718	△8.2	408	△6.4
24年3月期第2四半期	18,912	△0.7	803	△23.0	782	△24.3	436	△26.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 404百万円 (2.9%) 24年3月期第2四半期 393百万円 (△30.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	9.86	—
24年3月期第2四半期	10.54	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	44,848	24,105	53.7	581.53
24年3月期	45,461	23,950	52.7	577.75

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 24,105百万円 24年3月期 23,950百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	1.9	1,800	13.1	1,700	8.2	950	37.1	22.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	41,476,012 株	24年3月期	41,476,012 株
25年3月期2Q	23,882 株	24年3月期	21,924 株
25年3月期2Q	41,452,837 株	24年3月期2Q	41,454,816 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記の業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興関連需要等を背景に一部ではゆるやかな回復基調が見られるものの、世界経済の減速懸念と長期化する円高の影響、電力問題の不安など、依然として景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のなか、当グループでは中長期経営計画【NB100】のもと、収益構造の安定化に向けた「事業フィールド戦略」の着実な実践のために経営資源の選択と集中を明確に実行する取組みを行いました結果、売上高は188億5千5百万円（前年同期比0.3%減）、経常利益は7億1千8百万円（前年同期比8.2%減）、四半期純利益は4億8百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### メディカル事業本部

##### (ヘルスケアフィールド)

当第2四半期連結累計期間のドラッグストアを中心とした大衆薬市場におきましては、ご好評をいただいている救急絆創膏「ケアリーヴ<sup>®</sup>」シリーズ、鎮痛消炎剤「ロイヒ」シリーズを中心に、ドラッグストア店頭でお客様に対して、製品の持つ高い付加価値の告知や販売促進の取組みを積極的に行いました結果、救急絆創膏「ケアリーヴ<sup>®</sup>」シリーズを中心に売上は順調に推移いたしました。その中でもハイドロコロイド素材のモイストパッド<sup>®</sup>が湿潤環境を作ることにより肌の持つ治す力を高め、キズを早くきれいに治す「ケアリーヴ<sup>®</sup>治す力<sup>™</sup>」がご好評をいただいております。

##### (医療材フィールド)

当第2四半期連結累計期間の医療機関向け医療材料市場におきましては、医療機関が感染予防や安全性への取組みを継続していることから、医療の安全に貢献する低刺激製品・感染予防対策製品に注力した取組みを行いました。その中でも採血や透析後の止血に特化した「インジェクションパッドマイルド」が好調に推移いたしました。

以上の取組みを実施してまいりました結果、ヘルスケアフィールドと医療材フィールドを合わせたメディカル事業本部全体の売上高は65億1千8百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は12億7百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

#### テープ事業本部

##### (オフィスホームフィールド)

当第2四半期連結累計期間の文具事務用品業界におきましては、主力ユーザーである官公庁・事業所需要の低迷が継続する非常に厳しい状況で推移いたしました。その中で新製品の「セロテープ<sup>®</sup>直線美<sup>®</sup>mini」は、テープの切り口が直線になる機能と高いデザイン性が注目され、大変ご好評をいただき、マスコミに数多く取り上げられました。

##### (工業品フィールド)

当第2四半期連結累計期間の産業用テープ業界におきましては、食品関連分野とマスキングテープにおいて、高機能製品の拡大に向けた取組みに注力してまいりました。食品関連分野では、中食市場に向けた取組みを継続した結果、フードバックのふた止め用テープ「セロテープ<sup>®</sup>イージーオープン」が堅調に推移いたしました。新製品の「マスキングテープ No. 222」がご好評をいただき市場を拡大いたしました。フィールド全体としては経済活動の停滞の影響を受け、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、輸出につきましてはアジアを中心とする需要がありましたが、円高ならびに欧州、アジアの不安定な経済活動が影響し、売上が前年実績を下回る結果となりました。

以上の取組みを実施してまいりました結果、オフィスホームフィールドと工業品フィールドを合わせたテープ事業本部全体の売上高は123億3千7百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は8億1千5百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少並びに売上債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ6億1千2百万円減少し、448億4千8百万円となりました。また純資産は1億5千5百万円増加し、241億5百万円となりました。この結果、自己資本比率は53.7%となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ2億1千8百万円（2.1%）減少し、100億2千6百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ4千9百万円（3.5%）増加し、14億8千1百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加額の減少、仕入債務の減少等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ2千6百万円（2.0%）増加し、13億5千7百万円となりました。これは主に有形固定資産の購入等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ1千万円（3.2%）増加し、3億4千2百万円となりました。これは主に配当金の支払等によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、平成24年5月14日に公表いたしました平成25年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成24年5月14日発表)	百万円 39,600	百万円 1,900	百万円 1,800	百万円 1,000	円 銭 24.12
今回修正予想 (B)	39,000	1,800	1,700	950	22.92
増減額 (B-A)	△600	△100	△100	△50	—
増減率 (%)	△1.5	△5.3	△5.6	△5.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	38,260	1,591	1,571	692	16.72

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる影響額は軽微であります

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,055	9,799
受取手形及び売掛金	12,452	11,920
有価証券	506	506
商品及び製品	3,002	3,059
仕掛品	1,396	1,398
原材料及び貯蔵品	1,135	1,077
その他	786	746
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	29,331	28,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,525	4,497
その他(純額)	7,029	7,310
有形固定資産合計	11,555	11,807
無形固定資産		
投資その他の資産	81	75
固定資産合計	4,492	4,460
資産合計	16,129	16,344
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,640	7,390
1年内返済予定の長期借入金	2,000	—
未払法人税等	161	285
役員賞与引当金	61	31
その他	4,508	4,078
流動負債合計	14,372	11,785
固定負債		
長期借入金	—	2,000
退職給付引当金	3,552	3,393
役員退職慰労引当金	91	85
長期預り保証金	2,891	2,900
資産除去債務	91	91
その他	511	485
固定負債合計	7,138	8,957
負債合計	21,511	20,743

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,451	5,451
資本剰余金	4,186	4,186
利益剰余金	14,464	14,624
自己株式	△7	△8
株主資本合計	24,095	24,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	40
為替換算調整勘定	△197	△189
その他の包括利益累計額合計	△145	△149
純資産合計	23,950	24,105
負債純資産合計	45,461	44,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	18,912	18,855
売上原価	13,588	13,553
売上総利益	5,323	5,302
販売費及び一般管理費	4,519	4,551
営業利益	803	751
営業外収益		
受取利息	5	10
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	36	5
その他	25	22
営業外収益合計	74	44
営業外費用		
支払利息	29	25
支払手数料	31	31
その他	34	21
営業外費用合計	95	78
経常利益	782	718
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	16	42
特別損失合計	16	42
税金等調整前四半期純利益	768	675
法人税等	332	266
少数株主損益調整前四半期純利益	436	408
四半期純利益	436	408

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	436	408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	7
その他の包括利益合計	△43	△3
四半期包括利益	393	404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393	404

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	768	675
減価償却費	894	836
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△201	△158
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△161	△5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△0
有形固定資産除売却損益(△は益)	13	10
受取利息及び受取配当金	△12	△17
支払利息	29	25
売上債権の増減額(△は増加)	676	531
たな卸資産の増減額(△は増加)	△515	△0
仕入債務の増減額(△は減少)	248	△249
その他	△107	△24
小計	1,637	1,623
利息及び配当金の受取額	12	17
利息の支払額	△29	△26
法人税等の支払額	△187	△132
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,431	1,481
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△586	△279
定期預金の払戻による収入	415	316
有形固定資産の取得による支出	△765	△1,384
投資有価証券の取得による支出	△401	△1
投資有価証券の売却による収入	3	—
その他	2	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,331	△1,357
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	—	△2,000
配当金の支払額	△248	△248
その他	△83	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332	△342
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△236	△218
現金及び現金同等物の期首残高	10,495	10,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,258	10,026

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	メディカル事業本部 (百万円)	テープ事業本部 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,225	12,686	18,912	—	18,912
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	38	56	(56)	—
計	6,243	12,724	18,968	(56)	18,912
セグメント利益	1,151	898	2,049	(1,246)	803

(注) 1. セグメント利益の調整額1,246百万円には、セグメント間取引消去56百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用1,189百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	メディカル事業本部 (百万円)	テープ事業本部 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,518	12,337	18,855	—	18,855
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	37	71	(71)	—
計	6,551	12,375	18,926	(71)	18,855
セグメント利益	1,207	815	2,023	(1,271)	751

(注) 1. セグメント利益の調整額1,271百万円には、セグメント間取引消去71百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用1,200百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。